

野津田 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 福祉 科目 生活支援技術

教科：福祉 科目：生活支援技術 単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

使用教科書：7実教 福祉303 生活支援技術 副教材：最新 介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ

最新 介護福祉士養成講座 15 医療的ケア

教科 福祉 の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 生活支援技術 の目標：サービス利用者主体の生活支援の在り方を理解するとともに関連する技術を身に付け、尊厳の保持や自立支援に根ざした継続的で豊かな生活支援に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
医療的ケアについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	医療的ケアにおいて、課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	医療的ケアについて、自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学期</p> <p>・経管栄養の介護演習 ・応急手当の知識と技術</p> <p>【知識及び技術】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえた科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経管栄養の介護演習 ●応急手当の知識と技術 ●胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養（半固形栄養剤を含む） ●応急手当の知識と技術、救急蘇生法 <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、模型を使用し演習を通して経管栄養における技術の修得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、模型を使用し演習を行う中で、自身の課題等について思考し、実践する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 胃ろう、腸ろうによる経管栄養の手技について、模型を使用し演習を行う中で、他者との話し合いを通して、自らのみならず、グループ全体を意識した技術向上に努める。</p>	○	○	○	70
定期考査			○	○		1
<p>2 学期</p> <p>・喀痰吸引の介護演習</p> <p>【知識及び技術】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえた科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●喀痰吸引の介護演習 ●口腔内および鼻腔内、気管カニューレ内部の喀痰吸引の介護演習 <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、模型を使用し演習を通して経管栄養における技術の修得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、模型を使用し演習を行う中で、自身の課題等について思考し、実践する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 口腔内および鼻腔内による喀痰吸引の手技について、模型を使用し演習を行う中で、他者との話し合いを通して、自らのみならず、グループ全体を意識した技術向上に努める。</p>	○	○	○	71
定期考査			○	○		1
<p>3 学期</p> <p>・災害時における生活支援</p> <p>【知識及び技術】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際について、関連する知識を身に付ける</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際の必要性を考察できるように説明する</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む</p>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害時における生活支援 ●災害時における介護福祉職の役割、災害時における生活支援の実際 <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際について関連する技術を身に付けるために基礎知識をワークシートへ記入している</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際について考察することができている</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 災害時における介護福祉職の役割・生活支援の実際について、自ら内容をまとめ伝えることができている。また、グループワークで話し合った内容を発表できている</p>	○	○	○	31
定期考査			○	○		1
						合計
						175

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 福祉 科目 介護過程

教科：福祉 科目：介護過程 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

使用教科書：（7実教 福祉706 介護過程 副教材：最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程）

教科 福祉 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

科目 介護過程 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護過程の展開に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1学期 ・介護過程の意義と役割 【知識及び技能】 サービス利用者の援助における科学的根拠に基づいた介護を専門職として実践するための知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 サービス利用者のニーズを引き出し、個別援助につながる課題や思考する必要性などについて、創造的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 サービス利用者の個性と自立した生活を支援するために主体的かつ協働的に取り組む。	●指導事項 介護過程の意義と役割 ・介護過程とは ・事例検討等の必要性 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 2学年で学んだアセスメント作成を想起して、作成された介護計画をもとに実施した内容を指示の通りに記入することができたか。 【思考・判断・表現】 情報収集とニーズ、どのような相違があったか、利用者の様子はどうかであったかなど、利用者の状況を正しく判断して読みとることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アセスメントにおいて、自らコミュニケーションを通して利用者の思いを正しく読みとり、積極性をもって取り組むことができたか。	○	○	○	20	
							定期考査
2学期 ・介護過程の理解 【知識及び技能】 サービス利用者のアセスメントを活用し、介護計画に必要な情報の集約に対する知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 サービス利用者のアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択における判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 サービス利用者のアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択について協働的に取り組む態度を養う。	●指導事項 介護過程の理解 ・介護過程の展開 ・アセスメント ・介護計画の立案 ・介護の実施、評価 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 介護計画をもとに実施する際、その利用者の状況をアセスメントシートにあるそれぞれの項目を把握しながら必要な内容を記入することができたか。 【思考・判断・表現】 情報の解釈、関連づけ、統合化を通してどのような情報が必要か取捨選択をするために思考し、正しく判断をするためのできたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者とともにアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択がされているか、他者と話し合いをすることができるか。	○	○	○	32	
							定期考査
3学期 ・介護過程とチームアプローチ 【知識及び技能】 多職種連携チームケア、チームにおける介護職の役割と重要性、地域ケアの体制についての知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 施設介護におけるチームアプローチについて理解し、支援に関する課題を発見し、解決しようとするができる。 【学びに向かう力、人間性等】 チームアプローチの支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	●指導項目 介護過程のチームアプローチ ・チームアプローチの意義 ・チームアプローチの実践 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 多職種連携と地域ケア、チームアプローチの支援について理解し、介護計画作成に活用し、正しく盛り込むことができるか。 【思考・判断・表現】 施設介護におけるチームアプローチの支援について学び、介護計画をもとに実施した内容を振り返り、新たな情報を含め必要な情報の取捨選択をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの援助から利用者の思いに沿った再介護計画となるよう自ら意識的に考え、チームアプローチを意識しながら策定することができるか。	○	○	○	15	
							小テスト
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 福祉 科目

教科：福祉 科目：介護総合演習 単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 4組

使用教科書：（最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習）

教科 福祉 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

科目 介護総合演習 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の創造に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探索し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思		配当 時数	
1 学期	介護演習 【知識及び技術】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する知識と技術を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントへの取り組みを学び、サービス利用者の生活課題を発見し、創造的な問題解決について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 地域のなかにある介護施設の役割を理解した上で、介護実習について自ら学び、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づく介護を目指して主体的かつ協働的に取り組む。	・指導項目 マナー講座（実習に臨む態度・学ぶ姿勢） 介護実習事前指導 ・教材 教科書、テキスト、実習日誌、社会福祉小六法、タブレット端末、個人票	【知識・技能】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する知識と技術を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントへの取り組みを学び、サービス利用者の生活課題を発見し、創造的な問題解決について考察することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 地域のなかにある介護施設の役割を理解した上で、介護実習について自ら学び、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
2 学期	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 介護過程の展開 ・教材 教科書、テキスト、タブレット端末、実習日誌、個人票、社会福祉小六	【知識・技能】 介護計画をもとに実施する際、その利用者の状況をアセスメントシートにあるそれぞれの項目を把握しながら、必要な内容を記入することができたか。 【思考・判断・表現】 情報の解釈、関連づけ、統合化を通してどのような情報が必要か取捨選択をするために思考し、正しく判断をするためのできたか 【主体的に学習に取り組む態度】 他者とともにアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択がされているか、他者と話し合いをすることができるか	○	○	○	11	
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				○	○		1
	定期考査				○	○		1
3 学期	調査、研究、実験 【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する知識と技術を身につける。 【思考力・判断力・表現力等】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通してサービス利用者の生活課題を発見し、専門性を意識した創造的な問題解決について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 福祉の各分野について自ら学び、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づく、調査、研究、実験に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導項目 介護実習Ⅱ事後指導 ・教材 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末	【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する知識と技術を身につけることができたか。 【思考力・判断力・表現力等】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通してサービス利用者の生活課題を発見し、専門性を意識した創造的な問題解決について考察することができたか。 【学びに向かう力・人間性等】 福祉の各分野について自ら学び、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づく、調査、研究、実験に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	12	
							合計	
							35	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 福祉 科目 こととからだの理解

教科：福祉 科目：こととからだの理解 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 4組

使用教科書：（7実教 福祉704 こととからだの理解 副教材：最新 介護福祉士養成講座 11～）

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を
 の目標： 通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として
 必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展
 に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

科目 こととからだの理解 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の支援に必要なこととからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	自立生活の支援に必要なこととからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こととからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・発達と老化の理解 【知識及び技能】 ・人間が発達することを学び、発達課題を理解する。・身体面の変化が人格や行動にどのような影響を与えるのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発達の個人差を理解することで老年期における個別ケアに繋げ、個別支援の考えを身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 発達や老化に伴う支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・指導項目 第3編 発達と老化の理解 第1章 人間の成長と発達 第2章 老年期の理解と日常生活 ・教材 教科書、プリント、ICT端末	【知識・技能】 発達課題や身体面の変化が人格や行動にどのような影響から理解した内容を記入しているか。 【思考・判断・表現】 発達の個人差を理解することで老年期における個別ケアについて考察した内容を記入しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 発達や老化に伴う支援についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか。	○	○	○	21
	小テスト			○	○		1
	・発達と老化の理解 【知識及び技能】 老年期における環境の変化や心理面の影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者が訴えることの多い症状について理解することで、疾患を発見する視点を持ち、保健医療職との連携について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 医療職等他分野の専門職との連携について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・指導項目 第3編 発達と老化の理解 第2章 老年期の理解と日常生活 第3章 高齢者と健康 ・教材 教科書、プリント、ICT端末	【知識・技能】 老年期における環境の変化や心理面の影響から理解した内容を記入しているか。 【思考・判断・表現】 高齢者の疾患について考察する視点を持つことに対して、内容を記入しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 医療職等他分野の専門職との連携についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか。	○	○	○	25
定期考査			○	○		1	
2 学期	障害の理解 【知識及び技能】 障害の理解に必要な知識と支援方法について記述する。 【思考力、判断力、表現力等】 障害の理解に必要な知識をもとに支援方法について考察し、内容を記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 障害の理解に関して、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導項目 第5編 障害の理解 第1章 障害の基本的理解 第2章 生活機能障害の理解 ・教材 教科書、副教材、プリント、ICT端末	【知識・技能】 障害について、理解した内容をワークシートに記入しているか。 【思考・判断・表現】 各障害の障害特性や原因となる疾患について理解し、適切な支援方法はどのようなものか考察した内容を記入しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 各障害の障害特性や原因となる疾患について理解し、適切な支援方法はどのようなものかについてグループで話し合った内容をまとめているか。	○	○	○	35
	小テスト			○	○		1
	障害の理解 【知識及び技能】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援について考察し、内容を記述する。 【学びに向かう力、人間性等】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援に関して、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・指導項目 第5編 障害の理解 第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活 第4章 障害と地域生活支援 ・教材 教科書、副教材、プリント、ICT端末	【知識・技能】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援について理解し内容を記入しているか。 【思考・判断・表現】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援について理解し障害のある人の自立支援について考察し記入しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 障害に伴う心身の変化と日常生活及び障害と地域生活支援について理解し障害者が地域で暮らしていくためのサポート体制づくりについてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか。	○	○	○	33
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>認知症の理解</p> <p>【知識及び技能】 認知症とはどのような疾患であり、症状であるのかを理解する。・B P S D等の認知症の人の行動特性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 認知症の人の心理状態を理解し、基本的な対応方法について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 認知症の人の尊厳を考える視点から歴史的な変遷を振り返り、「自立」と「尊厳の保持」を達成できる介護につながる価値観を身に付</p> <p>小テスト</p>	<p>・指導項目</p> <p>第4編 認知症の理解 第1章 認知症をとりまく状況 第2章 認知症の基礎的理解 第3章 認知症に伴う心身の変化と日常生活 第4章 認知症と地域サポート</p> <p>・教材 教科書、プリント、ICT端末</p>	<p>【知識・技能】 認知症の疾患や症状、BPSD等の行動特性について理解した内容を記入しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 心理状況を理解し、基本的な対応方法について考察した内容を記入しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 認知症の人の尊厳を考える視点から歴史的な変遷を振り返り、「自立」と「尊厳の保持」を達成できる介護につながる価値観についてグループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか。</p>	○	○	○	21
				○	○		1
						合計	140